POWER ENTERPRISE Co.,Ltd.

i-Signal +G

取扱説明書

目次

パーツ一覧・・・

配線方法

警告 **作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を取外してから作業を開始して下さい。**

警告 **本製品で駆動できるブレーキランプは左右それぞれ20Ａ、計40Ａまでです。**
取付け前に、ランプ球に記載されている消費電力、または搭載ヒューズなどでご確認ください。

注意 **配線作業前に、基本接続図を参考に必要な長さのケーブルをご用意ください。**
ケーブル太さは、以下のようにブレーキヒューズの容量を参考にしてください。

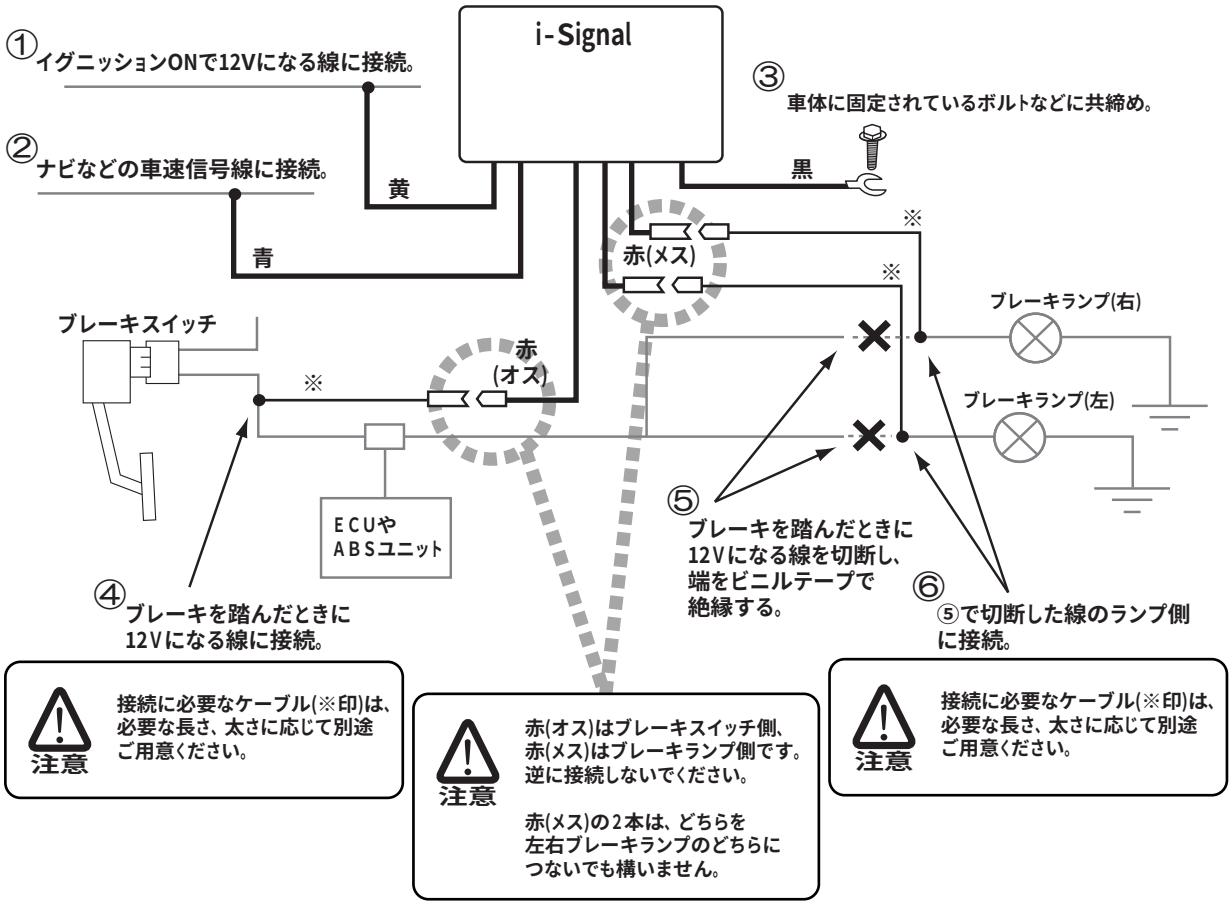
ブレーキヒューズ		ケーブル太さ
～ 5A	・・・	0.75sq以上
～10A	・・・	1.0sq以上
～20A	・・・	2.0sq以上

※ ブレーキヒューズは、車種により1個の場合と、
2個(左右用に各1個)の場合があります。
1個の場合はヒューズ容量の半分で計算してください。

端子のかしめには、適切なサイズの電工ペンチを使用して下さい。
不適切な工具でかしめを行なうと接触不良等により、正常に動作しないことがあります。

図中の記号の意味

基本配線図

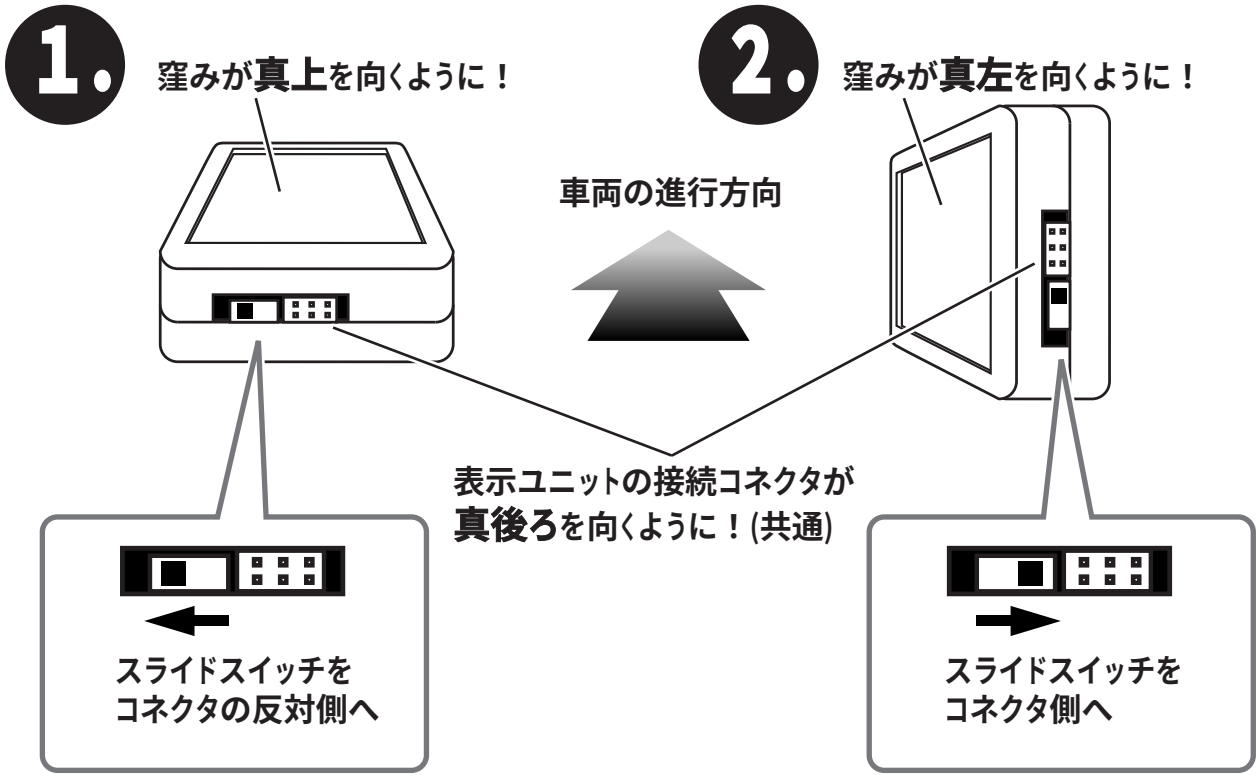


警告 **赤(メス)はブレーキランプのコネクタの近くに配線してください。**
あまり上流で接続すると、ＡＢＳが作動しないなどの恐れがあります。

本体ユニットと表示ユニットの取付け

本体ユニットの固定

以下の2通りのどちらかの向きで固定してください。
また、**固定の向きに合わせて本体のスライドスイッチを設定してください。**



注意　上記の2通り以外の向きで取付けすると、製品は正常に機能しません。

G計測の精度に関わりますので、上下･左右の傾きをできるだけ真っ直ぐにして固定してください。

表示ユニットの固定

表示ユニットを本体ユニットに接続し、両面テープなどで見やすい位置に固定してください。

動作確認と初期設定

警告

走行をする前に必ず動作確認と初期設定を行ってください。
誤った取付けや設定により機能が正常に発揮されないばかりか、ブレーキランプが点灯しないなどの危険を生じる恐れがあります。

動作確認

①エンジンキーを抜いた状態でブレーキを踏み、ブレーキランプが点灯することを確認してください。

②エンジンキーを挿してエンジンを始動し、ブレーキを踏むとブレーキランプが点灯することを確認してください。

警告

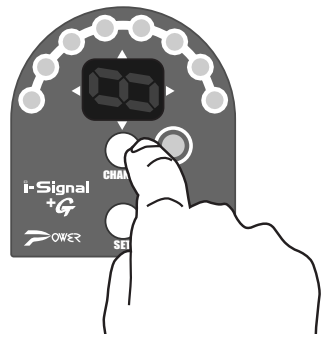
ブレーキランプの点灯は、他の人に見てもらう、壁で光を反射させる、などして必ず直接確認してください。

・ブレーキを踏んでも点灯しない。
・ブレーキを踏んでいないのに点灯する。
という場合には、動作確認を中断して接続を見直してください。

初期設定(1)　Gセンサのキャリブレーション

注意

この設定は、できるだけ水平が保たれる場所に停止した状態で行ってください。
G表示機能の精度に影響します。



上ボタンを2秒長押し

①エンジンキーを挿してエンジンを始動してください。

②表示ユニットの上ボタンを約2秒間押し続けてください。
表示ウィンドウに「⊂⊃」がパッパッパッと点滅したら、設定完了です。

③指を離し、全ての表示が消えていることを確認してください。

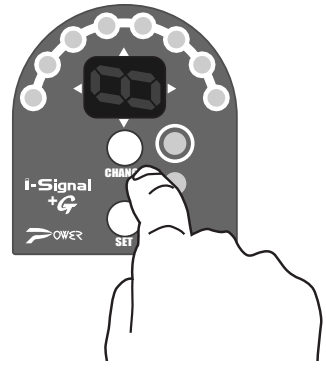
注意

指を離した状態(ゼロG状態)で何か表示がされているときは、設定が正常にできていません。
もう一度②からやり直してください。

初期設定(2)　車速の学習

警告

この設定は、走行しながら操作をする必要があります。
助手席の人に手伝ってもらうなどし、わき見運転とならないように注意してください。



上下両ボタンを2秒長押し

①車を走行させ、50km/h～55km/hを保ってください。

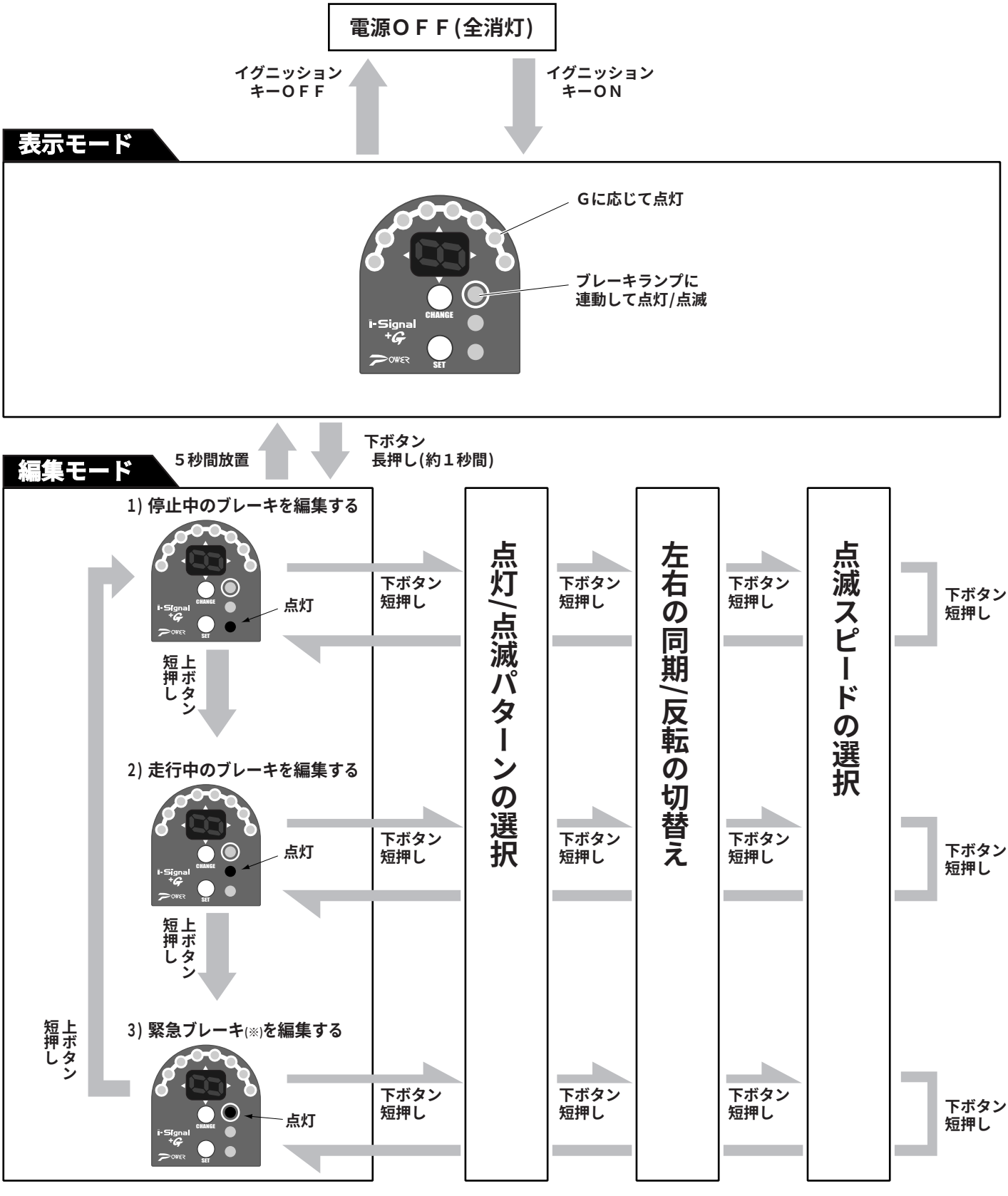
②そのまま、表示ユニットの上ボタンと下ボタンを
同時に約2秒間押し続けてください。
表示ウィンドウに「⊂⊃」が点灯したら、設定完了です。
指を離してください。

点滅の編集方法

警告

編集中にブレーキペダルを踏むと、ブレーキランプは編集中の点滅(点灯)を実演します。
後続車の迷惑となりますので、道路上で編集を行わないでください。
道路上で使用する場合には、道路交通法に従った設定でご使用ください。

操作一覧

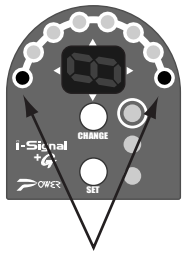


点滅の編集方法

注意

編集完了前(下記①～③の操作中)に、キーOFFにするなどして製品の電源を断つと、編集内容は記憶されません。

編集中は、表示ユニットで実際のブレーキの様子を確認できます。



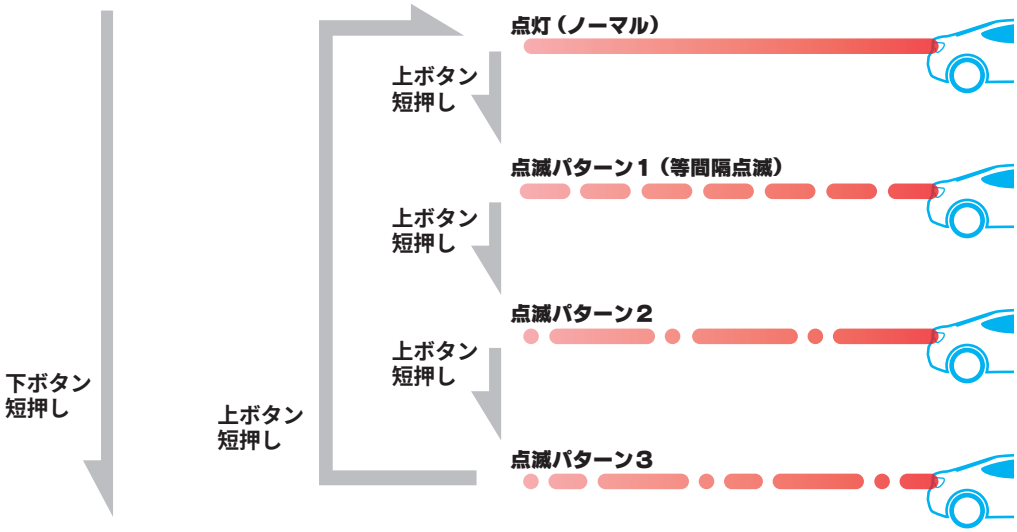
２ヶのLEDがブレーキの編集状態を実演。

注意

編集中にブレーキペダルを踏むと、ブレーキランプも編集状態を実演します。

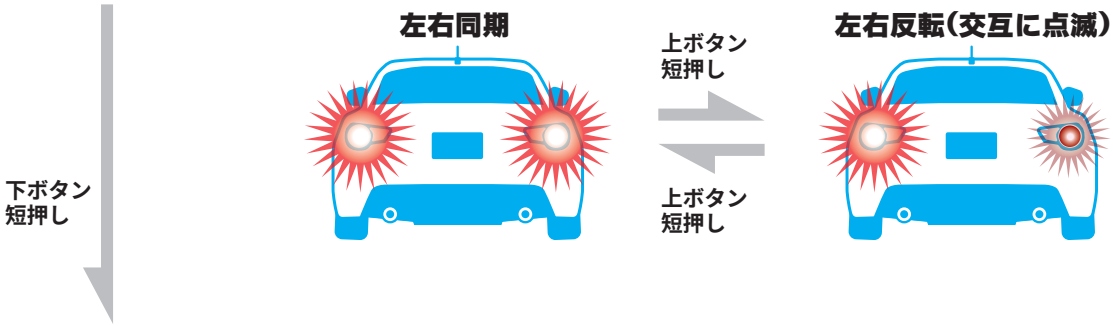
① 点灯/点滅パターンの選択

上ボタンで選択し、下ボタンで決定してください。



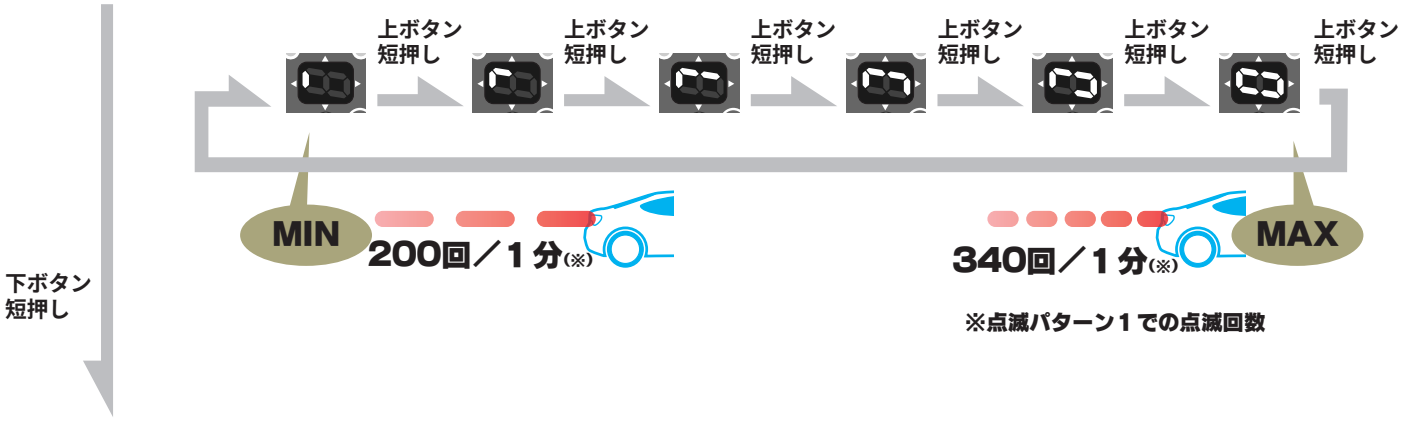
② 左右の同期/反転の切替え

上ボタンで選択し、下ボタンで決定してください。



③ 点滅スピードの選択

上ボタンで選択し、下ボタンで決定してください。



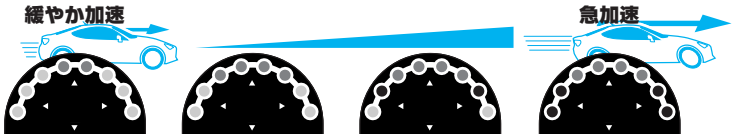
※点滅パターン１での点滅回数

編集完了

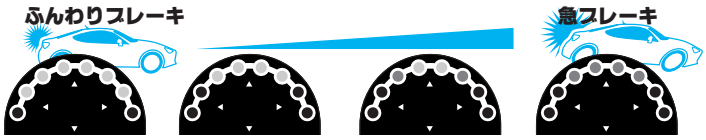
編集内容を本体に記憶し、編集モードに戻ります。

G表示について

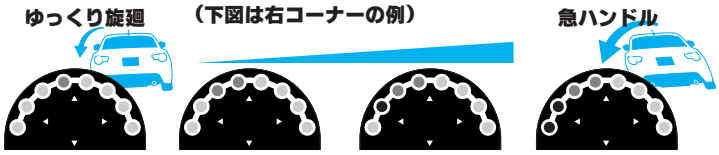
加速G
黄 → 緑



減速G
緑 → 黄



横G
橙 → 赤



減速しながら左に急旋廻したときの例

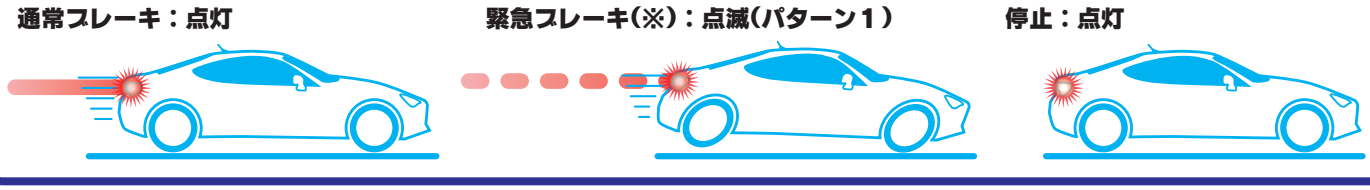
注意

本製品は、常に最大Gで全点灯となるように学習機能を持っています。
そのためスポーツ走行などで大きなGが加わると、以降の表示では動きが小さく感じるときがあります。
そのようなときには、キーを一旦OFFにしてください。学習をリセットできます。

製品を安全にお使いいただくために

道路交通法により、ブレーキの点滅条件は下図のように定められています。
(製品の工場出荷時の設定も下図のようになっています。)

道路交通法に則ったブレーキ点滅(工場出荷状態)



※ 50km／h以上のときに0.6G以上の減速
を開始し、その後0.3G未満になるまで を言います。

さらに、点滅の早さも以下のように定められています。

LEDタイプの場合 ･･･1分間に200～300回の範囲
フィラメント球の場合･･･1分間に200～240回の範囲

(工場出荷時は200回に設定されています。)

･緊急ブレーキ以外での点滅
･等間隔でない点滅
･左右のブレーキが同時でない点滅
･早すぎる点滅
など、上記以外のブレーキ点滅は法律に認められていません。
サーキットやイベントなどでお楽しみください。